

事務事業チェックシート

事務事業No 169 事業名 斎場施設管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	3	生活衛生対策の推進
取組方針	4	斎場、今福霊園の適切な改修、整備

事業種別	継続		
事業期間	昭和60年(現施設) ~		
事業実施の根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律・和歌山市斎場条例・同施行規則		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	保険総務課	小倉 昭彦	435-1326
関連課	なし		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		斎場費	
	大・中事業		斎場事業	
	中事業		斎場施設管理事業	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 対象を和歌山市斎場とし、施設の正常な運転を行い、施設使用不能による業務停止を避ける。		全体事業概要 斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。		斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。	斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。	斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。	斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。	斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	44,286	33,892	32,488	31,643	30,253	29,552	28,782		28,782	
伸び率(%)	-	-	▲26.6%	▲6.6%	▲6.9%	▲6.6%	▲4.9%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	3,405	3,301	3,301	3,556	3,404	3,546	3,546		3,546
	正規職員以外	511	492	492	531	536	551	551		551
	小計	3,916	3,793	3,793	4,087	3,940	4,097	4,097		4,097
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	44,286	33,892	32,488	31,643	30,253	29,552	28,782		28,782	
所要人数(人)	正規職員	0.45	0.44	0.44	0.45	0.45	0.44	0.44		0.44
	正規職員以外	0.24	0.28	0.28	0.29	0.28	0.29	0.29		0.29
主な予算内訳	機械修繕料 13,360千円		管理委託料 12,598千円							

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 修繕件数	件	目標値					
		実績値	29	23	22		
		達成度(%)					
成果指標 修繕執行率	%	目標値	100	100	100		
		実績値	98.8	99.9	97.7		
		達成度(%)	98.8%	99.9%	97.7%		
活動指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>斎場業務が円滑に支障なく遂行できるよう施設の維持管理に努める。開場後30年を経過、当時は最新設備であったものの今日では老朽化の域に入っており、修繕箇所も増加している。今後も円滑な業務を行うため、さらに日常点検に努め、問題のある箇所は、早急に改善し、運営に支障のきたさぬよう管理に努めたい。</p>
見直し・改善内容	<p>効果的・効率的な老朽化対策を継続していくことで、長寿命化を図ることとする。</p>